

委託事業実施内容報告書
平成28年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム(A)】

内容報告書

団体名：特定非営利活動法人日本語教育ボランティア協会

1. 事業の概要

事業名称	ジャボラNPO日本語教室
事業の目的	生活者として生きる外国人に関係する諸問題に対応し、問題解決に結びつく日本語教育を行う。 ア) 行政の手の届かない隙間を埋め、学習希望者が多く出席できる地域、場所で教室を開催する。 イ) 知識伝授型から共理解のための「交流」と「地域参加」型を重視する。 ウ) 地域、行政、企業、関係者が応援したくなる日本語教室を行い、持続できるようにする。
日本語教育活動に関する地域の実情・課題	実情①：日本語ができなくても住居や生活費が困らない外国人。 27年度文化庁当該事業において外国人集住県営団地(約170世帯中、60世帯が外国人)で初の日本語教室を開催した。ここに住む者は未だ日本語がわからない者が多い。彼らは病氣、老化、離婚等いろいろ抱えていることから、生活保護受給者が多い。よって、県営住宅にも入居しやすい。住居と生活費は保証されているので日本語ができないと困るという概念がないと思われる。(27年度の参加者は6名のみ。)こういった事情等からか昨今、困っていない者に日本語を教える時代ではないという流れが出てきている。しかしながら、困っていない者達となぜ共生が進まないかは問題とされていない。上記は実際に当方が携わった一例だが、同じような集住地域、団地例も見聞きしている。 実情②：日本語学習に反映させにくい日本人の考え方。 約束や時間を守る(時間厳守)、他人には迷惑をかけない(ゴミ、騒音)、利己主義にならない(強くしつこい自己主張)、人情を知る(相手の立場に立つ)、恥を知る(生活保護の正当性)、何かあれば助け合う(非常時)を貴重とする日本人の考え方を教える難しさがある。 実情③：生活者としての外国人において、社会の変化に容易く流されないだけの生きていくための日本語力がまだまだ欠如している。また日本で生きていく上で不可欠な漢字力がない。 課題 当方は27年度様々な「ずれ」をテーマに学習した。結果、マジョリティー側からの働きかけなくして共生はあり得ないことを再認識した。 ①就労ができていない永住、定住者等が抱える問題を情報交換や言葉の習得で自己解決に向かわせる場所と学習を提供する。 ②「知識を教える」のではなく外国人が理解しづらい日本人の心理を理解させる工夫をする。外国人も主体者となって日本語教室に携わる。また、日本人も参加しやすく、かつ双方に共生意識が生まれる仕組みが必要。 ③文化庁「生活者のための日本語」の教材の活用の促進。将来的にボランティアでも持続できる、人、教材を充実させる。 また日本で生きていく上で最低不可欠の漢字力を付ける。
事業内容の概要	上記の課題より ①就労ができていない永住・定住外国人に行政が行っていない週末土曜に、1)情報交換、2)日本語学習、3)居場所としての日本語教室を開催する。 ②教材の中に日本の昔話を取り入れて、日本人の行いや心情、生き方を理解しやすくする。学習者も学習者の立場ではなく、翻訳ボランティアとして参加する。また、日本語学習のツールとして歌を取り入れる。音楽の街浜松の特徴を生かし、地元の合唱団と交流をし、日本人ボランティアも参加しやすい仕組みを作る。 ③日本で生活していく中で最低不可欠な漢字力を付けさせられるよう、日本語教室の枠組みを広げる。
事業の実施期間	平成28年5月～平成29年3月 (11か月間)

2. 事業の実施体制

(1)運営委員会

【運営委員】

1	野山 広氏	国語国立研究所 日本語教育研究・情報センター準教授
2	竹村 吉弘氏	公益財団法人 浜松国際交流協会 事務局長
3	栗野 真紀子氏	NPO多言語多読 副理事長
4	山下 純乃氏	株式会社呉竹荘 常務取締役
5	伊熊 旬子氏	浜松少年少女合唱団 代表
6	河合 世津美	特定非営利活動法人日本語教育ボランティア協会 代表
7	岩永 府子	特定非営利活動法人日本語教育ボランティア協会 理事



【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	平成28年5月26日(木) 13:00～15:00	2時間	株式会社呉竹荘	野山広氏、竹村吉弘氏、栗野真紀子氏、山下純乃氏、伊熊旬子氏、河合世津美、岩永府子	事業実施内容検討会
2	平成28年10月15日(土) 13:00～15:00	2時間	株式会社呉竹荘	野山広氏、竹村吉弘氏、栗野真紀子氏、山下純乃氏、河合世津美、岩永府子	事業中間報告及び見直し
3	平成29年3月11日(土) 16:00～18:00	2時間	浜松国際交流協会	野山広氏、竹村吉弘氏、河合世津美、岩永府子	事業報告、検証、評価

(2)事業の実施体制

【運営委員会】地域の外国人及び共生等の情報の交換を行う。また、本年度文化庁委託事業において、日本語教室が必要とされる場所、日時、内容等が適切であるか検討する。会議では行政、自治会、企業の代表が当事業が適正に行われているか評価し、指導・助言していく。また、教え方教室や日本語教室の特別プログラムの講師や協力者として携わっていただく。

【コーディネーター】行政や自治会との連絡および交渉、運営委員会の実施、日本語教室の推進、学習者の出席確認、指導者に対する指導・助言をする。円滑な事業の運営に努める。

【指導者】27年度に引き続き、学習者に対し日本語能力評価を活用する。必要に応じて、教材を見直し充実させる。本事業における日本語教室への学習者の参加を啓発する。月1回の指導者ミーティングにおいて指導力評価を活用する。

【連携】中核メンバーはコーディネーターを中心として事業内容の概要に沿って事業を行い、定期的に話し合いの場を設け、適正かつ円滑な教室運営を行う。

(3)地域における連携体制

今後自立に向けた協力を得るための連携体制を敷く。

日本語教室の持続に向け、公共施設の提供をしていただき、多文化共生への指導をお願いするため浜松国際交流協会(HICE)事務局長竹村吉弘氏と連携する。CSR的側面と、学習者の出口機関として、地域で外国人を正規に雇っているホテルチェーン店「呉竹荘」常務取締役山下純乃氏に委員をお願いする。

本年の新しい取り組みとして、当地域の特色である音楽の街浜松において、20年間以上活躍している音楽団体代表の伊熊句子氏にも委員をお願いし、歌をツールとした日本語教育の一翼を担っていただく。

当事業に対し、総括的に指導していただくため、国立国語研究所野山広氏と連携する。

3. 各取組の報告

日本語教育の実施【活動の名称： ジャポラNPO日本語教室 土曜日 】									
目的・目標	・多文化共生につながる日本語力を向上させる。 ・開催時間と内容を拡大し、定住外国人に対し、より豊かな内容が学べる機会と場所を増やす。								
対象	就労外国人を中心とした平日参加が困難な人								
取組の内容	1)週末(土曜日)夜の教室(各クラス全30回)								
	時間帯	クラス	詳細						
	14:00～16:00	会話	市中心部から離れていて、かつ外国人住民が集住している地域での開催。27年度からの継続。						
	2)週末(土曜日)夜の教室(各クラス全40回)								
	時間帯	クラス	詳細						
	17:00～19:00	文化 (1クラス)	日本の昔話を用いて、日本語および日本人の心理や考え方(善行、団体行動、恩返し、等)を学ぶ。						
		会話 (1クラス)	日本語ゼロレベルの学習者のためのクラス。						
	18:00～19:00	識字 (4クラス)	【ひらがな1】平仮名入門クラス。 【ひらがな2】単語や文単位で読み書き練習を行う平仮名運用クラス。 【漢字1】漢字入門クラス。必要最低限の漢字の読みを中心に行う。 【漢字2】漢字の読みだけではなく書きも学んでいくクラス。						
19:10～20:40	会話 (5クラス)	日本語会話の教室以外に、特別校外学習として文化遺産などを巡ったり、地域合唱団の協力で日本の歌を歌ったりしながら日本語や日本の文化が学べる教室を開催。また、体験的にマナーや時間のルールを学び、日本社会で生活していくために必要な知識を身につける。							
実施期間	平成28年 5月 14日～平成29年 3月 18日					曜日・時間帯	土曜日昼 (14:00～16:00) 土曜日夜識字(18:00～19:00) 土曜日夜会話(19:10～20:40)		
開催回数	昼 全40時間 (1回 2時間 × 20回) 夜識字 全36時間 (1回 1時間 × 36回) 夜会話 全55.5時間 (1回 1.5時間 × 37回)					開催場所	土曜日昼:入野協働センター 土曜日夜:浜松市多文化共生センター		
参加者	総数101人 (日本語学習者 人、指導者・支援者 人など)					使用した教材・リソース	カリキュラム案を基にして作成したオリジナルテキスト		
出身・国別内訳 (人数)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン
	7人	0人	28人	8人	0人	1人	15人	6人	9人
	インド(20人)、アメリカ(4人)、アルゼンチン(1人)、イギリス(1人)、ウクライナ(1人)								
カリキュラム案活用									
日本語教育の実施内容									
①【ひらがな1】									
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要		指導者名	補助者名
1	平成28年5月14日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	2	あ、か、が行	あ、か、が行のひらがなの読みと書き 各行の単語(読み、書き) あい、いえ、えき、かお、がいこく 等		杉浦公子	
2	平成28年5月21日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	4	さ、ざ、た、だ、な行	各行の文字の読みと書き 各行の単語(読み、書き) かさ、かじ、きた、だいがく 等		杉浦公子	
3	平成28年5月28日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	2	は、ば、ぱ、ま行	各行の文字の読みと書き 各行の単語(読み、書き) はな、なべ、はっぱ 等		杉浦公子	
4	平成28年6月04日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	4	や、ゆ、よ、ら行	各行の文字の読みと書き 各行の単語の読み、書き やま、ゆき、よる、さら 等		杉浦公子	
5	平成28年6月11日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	4	わ、を、ん 促音	各行の文字の読みと書き 各行の単語の読み書き 促音の発音、読み、書き		杉浦公子	
6	平成28年6月18日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	4	拗音 きゃ、ぎゃ、しゃ、じゃ行	きゃ、ぎゃ、しゃ、じゃ、行の読み書き 各行の単語(読み書き) きやく、ぎゆうにく、しゃしん、じんじゃ 等		杉浦公子	
7	平成28年6月25日 19:10～20:40	1	浜松市多文化共生センター	3	にや、ちゃ行	ちゃ、にや 行の読み、書き 各行の単語(読み書き) こうちゃ、にゅうどうぐも 等		杉浦公子	
8	平成28年7月2日 19:10～20:40	1	浜松市多文化共生センター	4	ひや、びや、びや行 長音	ひや、びや、びや、各行の文字、単語 の読みと書き(ひやくえん、びょういん等) 長音の読み、書き(ぎんこう、こうこう等)		杉浦公子	
9	平成28年7月9日 19:10～20:40	1	浜松市多文化共生センター	1	みや、りや行 場所の名前	拗音 みや、りや行の文字と単語の読み書き 場所の名前の読み えき、ぎんこう、ゆうびんきょく...		杉浦公子	

10	平成28年7月16日 19:10～20:40	1	浜松市多文化共生センター	1	にゃ、ひゃ、びゃ、びゃ行 拗音の復習	拗音 にゃ、ひゃ、びゃ、びゃ行の 文字、単語の読みと書き にゅういん、ひゃくえん、びょういん 等	杉浦公子	
11	平成28年7月23日 19:10～20:40	1	浜松市多文化共生センター	1	拗音	拗音のまとめを行った。 拗音を使う言葉を書く練習をした。	杉浦公子	
12	平成28年8月20日 19:10～20:40	1	浜松市多文化共生センター	1	ひらがなの復習	主に拗音の復習	杉浦公子	
13	平成28年8月27日 19:10～20:40	1	浜松市多文化共生センター	1	ひらがなの復習	50音の読みと書き 単語の読み	杉浦公子	
14	平成28年9月3日 19:10～20:40	1	浜松市多文化共生センター	1	カタカナ ア、カ、ガ、サ、ザ行	各行の読み書き 各行の単語の読み、書き アイロン、ガム、サインなど	杉浦公子	
15	平成28年9月10日 19:10～20:40	1	浜松市多文化共生センター	4	タ、ダ、ナ、ハ行	各行の読みと書き 各行の単語の読み、書き タクシー、ダイヤ、ナイフ、ハンガー等	杉浦公子	
16	平成28年9月17日 19:10～20:40	1	浜松市多文化共生センター	3	カタカナ バ、パ、マ、ヤ行	各行の読みと書き 各行の単語の読み書き バス、パソコン、メロン・・・	杉浦公子	
17	平成28年9月24日 19:10～20:40	1	浜松市多文化共生センター	3	カタカナ ラ、ワ、行 拗音	各行の読みと書き 各行の単語の読みト書き ライオン、ワイン、キャンセル・・・	杉浦公子	
18	平成28年10月1日 19:10～20:40	1	浜松市多文化共生センター	3	ひらがな あ～さ行	各行の読みと書き 各行の単語の読みと書き あい、えき、がいこく・・・	杉浦公子	
19	平成28年10月15日 19:10～20:40	1	浜松市多文化共生センター	3	ひらがな た～な行	各行の読みと書き 各行の単語の読みと書き ぐち、でぐち、おかね・・・	杉浦公子	
20	平成28年10月22日 19:10～20:40	1	浜松市多文化共生センター	3	ひらがな は、ば、ば行	各行の読みと書き 各行の単語の読みと書き はし、さいふ、なべ、きつぷ・・・	杉浦公子	
21	平成28年10月29日 19:10～20:40	1	浜松市多文化共生センター	3	ひらがな ま～ら行	各行の読みと書き 各行の単語の読みと書き うま、はさみ、ふゆ、るす・・・	杉浦公子	
22	平成28年11月5日 19:10～20:40	1	浜松市多文化共生センター	3	ひらがなまとめ①	今までの習った単語を聞いて書く。 特に促音について練習	杉浦公子	
23	平成28年11月12日 19:10～20:40	1	浜松市多文化共生センター	3	カタカナ ア、カ、サ、タ行	各行の読みと書き 各行の単語の読みと書き アイス、ココア、サイズ、センス・・・	杉浦公子	
24	平成28年11月26日 19:10～20:40	1	浜松市多文化共生センター	3	カタカナ ナ、ハ、マ行	各行の読みと書き 各行の単語の読み書き ナイフ、ハンガー、マスク・・・	杉浦公子	
25	平成28年12月3日 19:10～20:40	1	浜松市多文化共生センター	3	カタカナ ヤ、ラ、ワ行 拗音	各行の読みと書き 各行の単語の読みと書き ユニセフ、ライオン、ワイン・・・	杉浦公子	
26	平成28年12月10日 19:10～20:40	1	浜松市多文化共生センター	3	カタカナ まとめ	カタカナの総復習 長音、拗音について聞く、書くを 重点的に行う	杉浦公子	

②【ひらがな2】

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成28年5月14日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	12	ひらがな(濁音、半濁音) カタカナ (アイウエオ～サシスセソ)	はがき、新聞、めがね、えんぴつなどの実物を見せ、生徒が黒板にその言葉を書いた。	金田久子	
2	平成28年5月21日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	11	ひらがな(家族の名前) カタカナ(タチツテト)	プリントを見ながら、家族の呼び方を覚え、一人ずつ黒板に書いていった。	金田久子	
3	平成28年5月28日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	10	ひらがな(長音、促音) カタカナ(ナニヌネノ～ラン)	先生、生徒、時計、切符、学校、楽器などの言葉を覚え、ノートに書いて練習した。	金田久子	
4	平成28年6月4日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	9	ひらがな(拗音) カタカナ(促音、拗音)	図書館、小学校、病院、シャンプー、ショートケーキなどの言葉を覚えた。	金田久子	
5	平成28年6月11日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	5	ひらがな(日本の部屋) カタカナ(部屋の中)	和室にある物の名前を覚えた。また、部屋の中にある物の名前をカタカナで答えた。	金田久子	
6	平成28年6月18日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	7	ひらがな (台所、洗面所にある物)	台所と洗面所にある物の名前を確認し、書いたり読んだりして覚えた。	金田久子	
7	平成28年6月25日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	4	ひらがな (い形容詞とな形容詞)	絵カードを見ながら、「おおきい⇄ちいさい」などの言葉を確認し、ノートに書いた。	金田久子	
8	平成28年7月2日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	4	ひらがな(町の中にある物) カタカナ(趣味)	地図を見ながら、町の中にあるいろいろな建物や場所の名前を確認した。また、イラストを見て様々な趣味についてカタカナで表現した。	金田久子	
9	平成28年7月9日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	8	ひらがな・カタカナ (飲み物、野菜、果物)	イラストを見ながら、飲み物、野菜、果物の名前を7確認した。数字の読み方、お金の数え方について練習した。	金田久子	
10	平成28年7月16日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	4	ひらがな・カタカナ (調味料、菓子、料理)	イラストを見ながら、(調味料、菓子、料理)の名前を書いて確認した。日付と時計の読み方を読んで確認した。	金田久子	
11	平成28年7月23日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	4	ひらがな・カタカナ (身につけるもの、乗り物) 文の書き方	カタカナで、身につける物の名前を確認した。縦書きと横書きの文の書き方を覚えた。	金田久子	
12	平成28年8月20日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	3	ひらがな・カタカナ	ひらがなでは、天気、季節、色などを練習した。カタカナは、「アイウエオ～ガギゲグゴ」を練習した。	金田久子	

13	平成28年8月27日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	3	ひらがな・カタカナ	よく似ているひらがなを確認した後、身体の名称を書いて覚えた。カタカナでは「サシスセソ」と、伸ばす「ー」の使い方を確認した。	金田久子	
14	平成28年9月3日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	3	ひらがな・カタカナ	イラストを見ながら、ひらがなの濁音の練習をした。カタカナでは、「タチツテ」と、伸ばす音「ー」を使った言葉を確認した。	金田久子	
15	平成28年9月10日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	5	ひらがな・カタカナ	家族の名称を確認し、自分の家族の紹介をした。カタカナでは、「ナニヌネノ」「ハヒフヘホ」「バビブベボ」「パピペボ」を使った言葉を練習した。	金田久子	
16	平成28年9月17日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	7	ひらがな・カタカナ	イラストを見ながら、長音と促音の言葉を練習した。カタカナでは、「マミムメモ」を使った言葉を練習した。	金田久子	
17	平成28年9月24日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	6	ひらがな・カタカナ	「しょうがっこう」「びょういん」など、拗音を使った言葉を練習した。カタカナでは「ラリルレロ」「ワラン」のつく言葉をノートに書いた。	金田久子	
18	平成28年10月1日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	5	ひらがな・カタカナ	イラストを見ながら、一人ずつ前に出て、和室にある物をひらがなで、洋室にある物をカタカナで書いた。	金田久子	
19	平成28年10月08日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	5	ひらがな・カタカナ	イラストを見ながら、ひとりずつ前に出て、台所、洗面所にある物の名前をひらがなで書いた。カタカナの「キヤ、キユ、キョ」を使った言葉を練習した。	金田久子	
20	平成28年10月22日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	5	ひらがな・カタカナ	町の中にある様々な場所をひらがなで書き、身近にどんな物があるかを話した。また、趣味の種類をカタカナで書いた。	金田久子	
21	平成28年10月29日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	6	ひらがな・カタカナ	スポーツの種類をカタカナで書き、どんなスポーツが好きかについて話した。3つの文を黒板に書き、その中でどこをカタカナで書くかを考えた。	金田久子	
22	平成28年11月5日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	5	ひらがな・カタカナ	飲み物、肉、野菜の名前を覚えた。どんな飲み物が好きかを話した。	金田久子	
23	平成28年11月12日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	4	ひらがな・カタカナ	果物の名前を確認。カタカナの「リヤ、リュ、リョ」までを学習。	金田久子	
24	平成28年11月26日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	4	ひらがな・カタカナ	調味料、料理の名前を確認。どんな料理が好きかを話す。	金田久子	
25	平成28年12月3日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	5	ひらがな・カタカナ	身につける物の名前を覚える。絵本をひとり一冊選んでみんなの前で読む。	金田久子	
26	平成28年12月10日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	5	ひらがな・カタカナ	乗り物の名前を覚える。絵本を一冊選んで前へ出て読む。	金田久子	
27	平成29年1月07日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	3	ひらがな	これまでの復習として、50音表にひらがなを記入。聞いたことばを書き取る。カードを使ったことばの練習。	金田久子	
28	平成29年1月14日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	3	カタカナ	これまでの復習として、50音表にカタカナを記入。聞いたことばや文を書き取る。カードを使ったことばの練習。	金田久子	
29	平成29年1月21日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	3	ひらがな	拗音を使ったことばの復習。書く、聞く、話すことの練習。	金田久子	
30	平成29年1月28日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	3	カタカナ	拗音を使ったことばの復習。書く、聞く、文を書く練習。	金田久子	
31	平成29年2月4日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	3	ひらがな・カタカナ	ひらがな(家族の呼び名)カタカナ(ハヒフヘホ・バビブベボ・パピペボ)	金田久子	
32	平成29年2月18日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	3	ひらがな・カタカナ	ひらがな(促音)、カタカナ(〜フ、ヲン)	金田久子	
33	平成29年2月25日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	3	ひらがな・カタカナ	まとめの練習。ひらがなとカタカナを使って文を書く。	金田久子	

③【漢字1】

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成28年5月14日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	1	身体	漢字書き: 海、川、世、界、映、画 花、茶、英、語、体、足、口、顔、耳目 漢字読み: 2・3回分の作文読み	内藤ひで子	
2	平成28年5月21日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	1	総復習	既習の漢字の読み・書き練習	内藤ひで子	
3	平成28年5月28日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	2	日常	漢字書き: 立、知、住、思、使、作品、長、明、肉 漢字読み: 3・4回分の作文読み	内藤ひで子	
4	平成28年6月4日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	2	お店	漢字書き: 問、答、心、配、子、売場、漢、字、料、理	内藤ひで子	
5	平成28年6月11日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	3	既習の漢字読み	漢字書き: 新、古、持、主、着 漢字読み: 5・6回分の作文読み	内藤ひで子	
6	平成28年6月18日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	3	趣味	漢字書き: 電、話、音、楽、歌、度教、習	内藤ひで子	
7	平成28年6月25日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	3	学習	漢字書き: 貸、借、送、勉、強、旅、室、登	内藤ひで子	
8	平成28年7月2日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	3	既習の読み練習	漢字読み: 7・8回分の作文読み	内藤ひで子	

9	平成28年7月9日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	1	仕事	漢字書き:不、始、言、仕、事、病、院、医、者	内藤ひで子	
10	平成28年7月16日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	3	場所	漢字書き:堂、屋、用、有、店、民 漢字読み:11・12回分の作文読み	内藤ひで子	
11	平成28年7月23日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	2	地図	漢字読み:11・12回分の作文読み 漢字書き:正、銀、図、館、道、自、動	内藤ひで子	
12	平成28年7月30日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	2	既習の読み練習	漢字書き:建、特、終、駅、写、真、牛、林、森 漢字読み:13・14回分の作文読み	内藤ひで子	
13	平成28年8月27日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	1	試験	漢字書き:田、考、親、切、試、験 部、文、歳、留	内藤ひで子	
14	平成28年9月3日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	2	既習の読み練習	漢字書き:議、散、浴、降、欲、億 漢字読み:15・16回分の作文読み	内藤ひで子	
15	平成28年9月10日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	7	数字	漢字書き:一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、人、名、方	内藤ひで子	
16	平成28年9月17日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	9	職業	漢字書き:本、日、何、大、学、社、員、会、先、生、行、来、車	内藤ひで子	
17	平成28年9月24日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	8	既習の読み練習	漢字読み:数、前回の作文読	内藤ひで子	
18	平成28年10月1日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	7	お金	漢字書き:百、千、万、円、毎、時、分、半	内藤ひで子	
19	平成28年10月8日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	5	カレンダー	漢字書き:国、月、火、水、木、金、土、書	内藤ひで子	
20	平成28年10月22日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	8	既習の読み練習	漢字書き:1・2課分復習	内藤ひで子	
21	平成28年10月29日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	8	既習の読み練習	漢字読み:3・4課分復習	内藤ひで子	
22	平成28年11月5日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	8	時間、移動	漢字書き:友、年、今、週、休、前、午、後、校、帰	内藤ひで子	
23	平成28年11月12日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	8	動作	漢字書き:身、聞、読、食、飲、買 漢字読み:5・6課分の作文読み	内藤ひで子	
24	平成28年11月26日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	9	時刻	漢字読み:5・6課分の作文読み 漢字書き:母、父、物、朝、昼、夜、晩、町、山、白、赤	内藤ひで子	
25	平成28年12月3日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	6	事物の様子	漢字書き:青、黒、安、高、小 漢字読み:7・8課分の作文読み 漢字書き:男、女	内藤ひで子	
26	平成28年12月10日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	9	物の位置	漢字書き:上、下、左、右、中、門 間、近、魚、手、犬	内藤ひで子	
27	平成29年1月7日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	6	既習の読み練習	漢字書き:早、計、外 漢字読み:9・10課分の作文読み	内藤ひで子	
28	平成29年1月14日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	6	家族、季節	漢字書き:兄、弟、姉、妹、家、族 春、夏、秋、冬、	内藤ひで子	
29	平成29年1月21日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	5	既習の読み練習	漢字書き:気、天、多、少、元、歩 漢字読み:11・12課分の作文読み	内藤ひで子	
30	平成29年1月28日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	7	自然	漢字読み:7～12課分の作文読み 漢字書き:入、出、広、止、雨、開 海、川、世、界	内藤ひで子	
31	平成29年2月4日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	6	言語	漢字書き:画、映、花、茶、語、英 漢字読み:13・14課分の作文読み	内藤ひで子	
32	平成29年2月18日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	4	身体	漢字書き:体、足、口、顔、耳、目、立、知、住	内藤ひで子	
33	平成29年2月25日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	7	日常	漢字書き:思、使、作、品、長、明、肉	内藤ひで子	
34	平成29年3月4日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	3	既習の読み練習	漢字読み:15・16課分の作文読み 漢字書き:問、答、心、配、	内藤ひで子	
35	平成29年3月11日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	5	お店	漢字書き:子、売、場、字、漢、料、理、主、着	内藤ひで子	
36	平成29年3月18日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	6	既習の読み練習	漢字書き:新、古、持 漢字読み:17・18課分の作文読み	内藤ひで子	
④【漢字2】								
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成28年5月14日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	5	漢字の読み書き	漢字検定テストN5とN4.N3の内容 漢字学習を続けたことでテレビのテロップ等が読めるようになってきたとの報告があった。	竹村昇治	

2	平成28年5月21日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	3	漢字の読み書き	漢字検定テストN5とN4,N3の内容 文を読みながら発音・アクセントの訂正も行った。	竹村昇治	
3	平成28年5月28日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	6	漢字の読み書き	漢字検定テストN5とN4,N3の内容 新規学習者1名。読み書きができるようになりたいという気持ちが強い。	竹村昇治	
4	平成28年6月4日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	3	漢字の読み書き	漢字検定テストN5とN4,N3の内容 3人での学習。我が子とともに日本語を学ぼうとする姿は美しい。頑張りが続けてほしい。	竹村昇治	
5	平成28年6月11日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	3	漢字の読み書き	漢字検定テストN5とN4,N3の内容 今日は、3名で学習した。これまで来ていた数人が来なくなったのはさみしい。続けることは大変。でも継続は力なり。ファイト！	竹村昇治	
6	平成28年6月18日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	3	漢字の読み書き	漢字検定テストN5とN4,N3の内容 ブラジル人のMさんは、我が子が学校から持ち帰る「学校だより」を読み解くために漢字を学んでいるという。努力家である。がんばれ。	竹村昇治	
7	平成28年6月25日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	5	漢字の読み書き	漢字検定テストN5とN4,N3の内容 5名の学習者が集まった。どの人もやる気十分である。ずっと続けてきている。根気強さが、よい成果を得させている。	竹村昇治	
8	平成28年7月2日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	3	漢字の読み書き	漢字検定テストN5とN4,N3の内容 3名のブラジル人が学習した。なぜ日本語を学ぼうとしているのか。ブラジルの様子はどうか。など、彼らの生活にかかわることを話した。	竹村昇治	
9	平成28年7月9日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	4	漢字の読み書き	漢字検定テストN5とN4,N3の内容 3名のブラジル人、1名のベトナム人が学習した。中に、仕事疲れて居眠りをする人もいた。それにしても、よく頑張っている。	竹村昇治	
10	平成28年7月23日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	5	漢字の読み書き	漢字検定テストN5とN4,N3の内容 新しくベトナム人のSさんが加入した。Sさんは研修生で、3年間ほど日本に滞在予定。継続努力を望む。	竹村昇治	
11	平成28年7月30日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	3	漢字の読み書き	漢字検定テストN5とN4,N3の内容 第1期最後の教室には、3名の学習者が集まった。このうち2名は、同じテキストを2回、3回と学んでいる。努力を形にしている。すごい。	竹村昇治	
12	平成28年8月20日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	3	漢字の読み書き	漢字検定テストN5とN4,N3の内容 第2期最初の教室は、3名の女性で始まった。今日の活力をもとに、最後まで頑張って続けることを願う。	竹村昇治	
13	平成28年8月27日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	3	漢字の読み書き	漢字検定テストN5とN4,N3の内容 久しぶりにブラジル人のWさんが帰ってきた。今まで大変忙しかったとのこと。再び頑張るという。	竹村昇治	
14	平成28年9月3日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	4	漢字の読み書き	漢字検定テストN5とN4,N3の内容 4人の学習者が集まった。そのうちの一人は、1か月間ブラジルに帰っていた。楽しい時を過ごしたという。これからは、日本で学習を続けてほしい。	竹村昇治	
15	平成28年9月10日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	4	漢字の読み書き	漢字検定テストN5とN4,N3の内容 5人の学習者が集まった。ブラジル人とベトナム人である。国は違っても学ぶ意欲は共通する。がんばれ。	竹村昇治	
16	平成28年9月24日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	6	漢字の読み書き	漢字検定テストN5とN4,N3の内容 今日は、今期で最大の6名が集う学習となった。ベトナム人のDさん、Bさんが復帰したからです。頑張って続けてほしい。	竹村昇治	
17	平成28年10月1日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	3	漢字の読み書き	漢字検定テストN5とN4,N3の内容 3名の学習者が集った。皆、必要に迫られて学ぶ人たちである。職場で、あるいは子供の教育のため等の理由である。頑張っている。	竹村昇治	
18	平成28年10月8日18:00 ～19:00	1	浜松市多文化共生センター	7	漢字の読み書き	漢字検定テストN5とN4,N3の内容 今日は、全員集合した。ブラジル人4名とベトナム人3名である。励ましあって学ぶ姿が美しかった。	竹村昇治	
19	平成28年10月22日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	4	漢字の読み書き	漢字検定テストN5とN4,N3の内容 ベトナム人2名とブラジル人2名の学習になった。どの人もとても熱心である。N3の内容を3回学んでいる人もいる。	竹村昇治	
20	平成28年10月29日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	4	漢字の読み書き	漢字検定テストN5とN4,N3の内容 秋も深まってきた。継続は力なり。本日集まった4名の学習者は、N3の力を付けている。努力家である。	竹村昇治	
21	平成28年11月5日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	3	漢字の読み書き	漢字検定テストN5とN4,N3の内容 今日は、ブラジル人3名。必要を感じて黙々と努力する姿があった。	竹村昇治	
22	平成28年11月12日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	5	漢字の読み書き	漢字検定テストN5とN4,N3の内容 ベトナム人のSさんの成長が著しい。家で予習をしているからだ。彼女の努力を応援したい。	竹村昇治	
23	平成28年11月26日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	4	漢字の読み書き	漢字検定テストN5とN4,N3の内容 ブラジル人のMさんは、「子育て」に必要なということで漢字を学んでいる。中学生と小学生の子供さんを持つお母さんだ。頑張っている。	竹村昇治	
24	平成28年12月3日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	1	漢字の読み書き	漢字検定テストN5とN4,N3の内容 明日漢字検定テストがあるので本日欠席する人がいた。頑張って合格してほしい。	竹村昇治	
25	平成28年12月10日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	4	漢字の読み書き	漢字検定テストN5とN4,N3の内容 いつもの4名がそろった。寒くなってきたが、続ける努力をしている。努力が成果につながってほしいと願う。	竹村昇治	
26	平成29年1月7日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	3	漢字の読み書き	漢字検定テストN5とN4,N3の内容 第3期の学習が始まった。3名の学習者が集まった。子育てのための必要から、日本での研修のためと理由は様々。頑張れ。	竹村昇治	
27	平成29年1月14日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	2	漢字の読み書き	漢字検定テストN5とN4,N3の内容 ベトナム人のSさんは、研修生。漢字が必要になるという。そのため、一生懸命努力している。	竹村昇治	
28	平成29年1月21日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	6	漢字の読み書き	漢字検定テストN5とN4,N3の内容 新たにベトナム人のHさんが加入した。彼女は、研修生。漢字の読み書きの必要が迫られているようだ。	竹村昇治	

29	平成29年1月28日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	4	漢字の読み書き	漢字検定テストN5とN4,N3の内容 新加入のHさん、家で予習をしていた。「頑張ろう」という気持ちがよく分かった。	竹村昇治	
30	平成29年2月4日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	3	漢字の読み書き	漢字検定テストN5とN4,N3の内容 ブラジル人のHさんは、テキストブック3回目に挑戦している。彼女曰く「やっと覚えてきた」と。	竹村昇治	
31	平成29年2月18日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	2	漢字の読み書き	漢字検定テストN5とN4,N3の内容 ブラジル人のMさん、テキストレベル50まで到達。本当に頑張った。本年度中は復習のため出席すること。	竹村昇治	
32	平成29年3月4日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	2	漢字の読み書き	漢字検定テストN5とN4,N3の内容 ブラジル人のMさん、Wさんが最後の頑張りをを見せてくれている。続けることは大変だ。頑張れ。	竹村昇治	
33	平成29年3月11日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	3	漢字の読み書き	漢字検定テストN5とN4,N3の内容 ベトナム人のHさんが3週間ぶりに出席した。仕事で忙しかったという。よく来てくれた。ファイト！	竹村昇治	
34	平成29年3月18日 18:00～19:00	1	浜松市多文化共生センター	2	漢字の読み書き	漢字検定テストN5とN4,N3の内容 今年度の最終日を迎えた。2名のブラジル人が根気強く学習を終えた。	竹村昇治	
⑤【レベル0】								
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成28年5月14日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	12	紹介	自分のことを簡単に話す 名まえ、国、仕事	河合 世津美	
2	平成28年5月21日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	12	紹介	名まえ、国、仕事の言い方についてパターンをかける。他人の自己紹介を聞き取って質問する。	河合 世津美	
3	平成28年5月28日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	12	紹介	自分の家族を簡単に紹介する。	河合 世津美	
4	平成28年6月4日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	12	紹介	他家族について紹介される。 質問する。年齢、仕事等	河合 世津美	
5	平成28年6月11日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	12	住環境を整える	住んでいる所、アパートの名前、住所を言う。	河合 世津美	
6	平成28年6月18日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	14	住環境を整える	アパートの何階に住んでいるか、部屋番号が言える。 他の人の説明が聞き取れる。	河合 世津美	
7	平成28年6月25日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	14	住環境を整える	住所等を書く。	河合 世津美	
8	平成28年7月2日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	14	住環境を整える	日本語学校や店の時間を聞く	河合 世津美	
9	平成28年7月9日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	16	住環境を整える	学校や仕事の休みを聞く。 聞き取り	河合 世津美	
10	平成28年7月23日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	16	公共交通機関を利用する	時刻の見かた、掛かる時間を尋ねる。 交通機関の名前を覚える	河合 世津美	
11	平成28年7月30日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	10	公共交通機関を利用する	会社や学校までなにで行くか。 誰と行くか、何で行くか等	河合 世津美	
12	平成28年8月20日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	10	人とかかわる	自分の趣味を言う。人の趣味を尋ねる。 趣味の名前を覚える	河合 世津美	
13	平成28年8月27日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	14	人とかかわる	友達を買い物や映画に誘う。 相手の都合を尋ねる。曜日時間	河合 世津美	
14	平成28年9月3日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	14	消費活動を行う	必要な品物を扱う店の名前を覚える。商品名を覚える	河合 世津美	
15	平成28年9月10日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	14	消費活動を行う	お金の計算 おつりはいくらか 日本での値段について知る	河合 世津美	
16	平成28年9月17日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	15	消費活動を行う	商品の色、柄、サイズを知る。 衣服の名称と関連する言い回しを覚える。	河合世津美	
17	平成28年9月24日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	14	消費活動を行う	買いたいもの、欲しい物について会話する。 試着できるか、試食できるか尋ねる	河合世津美	
18	平成28年10月1日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	14	消費活動を行う	希望の食べ物を出す店について知る。 食べたいものを注文する。支払いをする。	河合世津美	
⑥【レベル1】								
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成28年5月14日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	7	自己紹介 家族について話す 1課-①	家族の呼び方、自分の家族の人数や、どこに住んでいるかについてそれぞれ聞き合った。	金田久子	
2	平成28年5月21日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	9	どこに住んでいるか聞く 1課-②	どんな家に住んでいるか、アパートに住む住人についての練習問題をやった。住所を言う練習をした。	金田久子	
3	平成28年5月28日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	12	どこに住んでいるか聞く	いろいろな場所の名前について確認した。デパートに買い物に行った時に自分の欲しいものがどこにあるかをきく会話練習をした。	金田久子	
4	平成28年6月4日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	12	学校や店の時間を聞く	時刻の言い方と主な動詞の確認をしてから、自分の一日の生活時間を書き出し、お互いに聞き合った。	金田久子	

5	平成28年6月11日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	10	学校や店の時間を聞く	カレンダーを見ながら、曜日、昨日、今日、明日などの言い方を確認した。相手の昨日の生活について聞き合った。	金田久子	
6	平成28年6月18日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	10	学校や店の時間を聞く	店員と客に分かれ、店の営業時間、定休日を電話で聞くという場面を設定し会話練習をした。	金田久子	
7	平成28年6月25日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	10	少年少女合唱団との交流	合唱団の歌を聞いた後、一緒に歌ったり、ゲームをしたりして交流した。	金田久子	
8	平成28年7月2日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	11	会社や学校まで何で行くか聞く	いつ、どこへ、だれと、なんで行くかの会話練習をした。	金田久子	
9	平成28年7月9日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	11	会社や学校まで何で行くか聞く	前回の内容を使って、それぞれの旅行計画を発表した。乗り物に乗る、降りるの言い方を確認した。	金田久子	
10	平成28年7月23日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	6	自分の仕事について話す	日常の基本的な行動が言えるようにいくつかの動詞を使って話した。また、人に誘われた時の会話練習をした。	金田久子	
11	平成28年7月30日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	8	自分の仕事について話す	自分の仕事の種類について話した。これまで学習した内容をプリントにて復習した。	金田久子	
12	平成28年8月20日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	4	夏休みの体験、復習	夏休みに、どこへ、だれと行ったか、どうだったかについて話した。プリント問題にてこれまでの復習をした。	金田久子	
13	平成28年8月27日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	7	夏休みの体験、物の様子、人の様子	それぞれの体験に対して、聞きたいことを自分の言葉で質問した。形容詞の使い方を練習した。	金田久子	
14	平成28年9月3日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	9	将来の自分の夢について話す	テキストの練習問題の中で、様々な店にある商品と、その特徴について説明し合った。	金田久子	
15	平成28年9月10日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	10	将来の自分の夢について話す	自分の会社の社長はどんな人かを話したのち、将来の自分の夢とその理由について発表し合った。	金田久子	
16	平成28年9月17日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	12	病院で自分の体調を話す・薬局で薬を買う	医師と患者のモデル会話を練習した後、自分たちで考えた内容で会話練習をした。薬の数え方などを覚えた。	金田久子	
17	平成28年9月24日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	8	クラス分けテスト・棚に物を置く時の言い方	レベル1のテストの後、棚に物を置く時、言われた場所がわかるように簡単な果物の例で練習した。	金田久子	
18	平成28年10月1日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	7	誕生日のプレゼントのやり取り、生活費について話す	家族の誕生日にどんなプレゼントをあげたか、また自分の誕生日にどんなプレゼントをもらったかについてペアになって話した。	金田久子	
19	平成28年10月8日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	8	新レベル1スタート 自己紹介	自分の名前、国、仕事と言える。 相手の名前を言う時は「～さん」をつけること。相手の名前、国、仕事を聞く時は「お」をつけること。	杉浦公子	
20	平成28年10月22日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	6	家族	自分の家族の人数を言うことができる。日本と母国の家族の人数もいえる。年齢の言い方の違いを理解する。	杉浦公子	
21	平成28年10月29日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	8	家族	自分と相手の家族の言い方の違いを理解し練習する。家族の内容を紹介できる。	杉浦公子	
22	平成28年11月5日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	8	まとめ	食べ物、飲み物、スポーツの名前を覚え、何が好きかを話したり聞いたりする。	杉浦公子	
23	平成28年11月12日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	8	住居	どこに住んでいるか尋ねたり、住所を聞かれたら答えたりする練習をした。	岩永府子	
24	平成28年11月26日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	9	住居	家の間取り図を見ながら、台所や玄関等、居住空間の名称を覚えた。	岩永府子	
25	平成28年12月3日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	5	住居環境	家の周りの公共施設や店の営業時間を尋ねる練習をした。	岩永府子	
26	平成28年12月10日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	8	一日の生活	就業時間や自分の一日の生活について話した。	岩永府子	高橋ゆき子
27	平成28年12月17日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	4	学習発表会	合唱団の歌を聴いたり、一緒に歌ったり、他の学習者のスピーチを聞いたりしながら日本語を学んだ。	岩永府子	
28	平成29年1月7日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	4	交通機関	冬休みの経験を通して、いつ、どこへ、だれと、なにで行くかについて話した。	金田久子	
29	平成29年1月14日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	4	交通機関	日本語教室へなにで来るのかについて話す。モデル会話の文を入れ替えて練習。	金田久子	
30	平成29年1月21日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	4	仕事	基本的な動詞を使って日常生活を表現できる。国、住所、誕生日、帰国予定などを質問し合う。	金田久子	
31	平成29年1月28日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	5	仕事	説明する 電気屋、コンビニ、スーパーなどの店員の仕事について考えた後、自分の仕事について説明する。	金田久子	
32	平成29年2月4日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	5	仕事	話し合う 将来の夢について話し合う。 将来どんな仕事をしたいかそれはなぜか等	河合世津美	
33	平成29年2月18日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	5	仕事	まとめて書く 職種、内容、将来の夢について書く。「仕事」まとめて	河合世津美	
34	平成29年2月25日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	4	健康を保つ	病院で伝える 自分の痛い箇所、原因、理由を簡単に伝える	河合世津美	

35	平成29年3月4日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	4	健康を保つ	周りに伝える 病気や病氣以外で、(ストレス等)具合が悪い時の 言い方	河合世津美	
36	平成29年3月11日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	4	健康を保つ	人、動物、物がどこにあるかを話す。その数え方の 違いを知る。薬局での買い物をしてみる。	杉浦公子	
37	平成29年3月18日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	4	健康を保つ	薬の数え方を勉強した。また、食前、食後等、薬の 飲み方を聞き取る練習をした。	杉浦公子	
⑦【レベル2】								
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成28年5月14日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	11	物品購入ー4	前回を発展させ、さらに「NO1」は何であるか質問 できるようにする。	内藤ひで子	
2	平成28年5月21日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	11	サービスー1	経験した事柄について、簡単な感想や印象が述べ られるようにする。	内藤ひで子	
3	平成28年5月28日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	13	サービスー2	人や場所について、簡単な描写説明ができるよう にする。	内藤ひで子	
4	平成28年6月4日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	14	安全を守るー1	簡単な依頼や、指示ができるようにする。	内藤ひで子	
5	平成28年6月11日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	14	安全を守るー2	緊急時に備えて、速やかな行動をとるための言葉 が理解できるようにする。	内藤ひで子	
6	平成28年6月18日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	13	安全を守るー3	防災について学習する。わからない言葉を見つけ たときに簡単な質問ができるようにする。	内藤ひで子	
7	平成28年6月25日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	14	交流	歌や、ゲームを通して日本人と交流を図る。	内藤ひで子	
8	平成28年7月2日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	8	安全を守るー4	経験したことについて、述べられるようにする。	内藤ひで子	
9	平成28年7月9日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	7	他者との関係を円滑にする ー1	他者に許可が求められるようにする。	内藤ひで子	
10	平成28年7月23日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	6	他者との関係を円滑にする ー2	前回に続き、今回は日本における規則等を理解す るようにする。	内藤ひで子	
11	平成28年7月30日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	10	他者との関係を円滑にする ー3	日常生活の行動を、順を追って話せるようにする。	内藤ひで子	
12	平成28年8月20日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	10	他者との関係を円滑にする ー4	前回に続き、とりわけ仕事におけるやり方の順が 理解できるようにする。	内藤ひで子	
13	平成28年8月27日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	10	他者との関係を円滑にする ー4	前回に続き、とりわけ仕事におけるやり方の順が 理解できるようにする。	内藤ひで子	
14	平成28年9月3日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	4	他者との関係を円滑にする ー5	相手にある行為(特に禁止行為)をしないように依 頼できるようにする。	内藤ひで子	
15	平成28年9月10日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	5	他者との関係を円滑にする ー6	するべき義務や、必要性があることについて一般 的判断が述べられるようにする。	内藤ひで子	
16	平成28年9月17日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	8	人生を豊かにするー1	自分の能力や状況の可能性が述べられるように する。	内藤ひで子	
17	平成28年9月24日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	8	人生を豊かにするー2	趣味などが具体的に述べられるようにすることで、 話題を共有する。	内藤ひで子	
18	平成28年10月1日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	8	人生を豊かにするー3	親しい友だちとカジュアルな会話を楽しめるように する。 レベル2の学習者が増えたため、次回から2クラス に分ける。	内藤ひで子	
⑧【レベル2ーA】								
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成28年10月8日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	6	新レベル2スタート 物品購入	買いたいもの、欲しい物とその理由を言う。 100均ショップにある名詞	河合世津美	
2	平成28年10月22日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	7	物品購入	形容詞の復習 形容詞接続(～くて)(～が) クイズEX長くて気持ち悪い物何?	河合世津美	
3	平成28年10月29日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	7	サービスを利用する	果物野菜飲み物、文房具等比べる、一番を選ぶ。 なにが、どれが、どこが、いつが他	河合世津美	
4	平成28年11月5日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	10	サービスを利用する	なに、どれ、どこ、いつを使って自分の考えを簡単 に話す	河合世津美	
5	平成28年11月12日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	10	経験したことについて 感想を言う	い形容詞な形容詞の過去形を使って感想を言う。 「どうでしたか。」「～でした」「～かった」など。	杉浦公子	
6	平成28年11月26日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	8	経験したことについて 友達に聞く	日本で初めて食べて物、浜松に行った所、先週の 日曜日何をしたかお互いに聞きあう。	杉浦公子	
7	平成28年12月3日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	7	事故にあった時の 対応について話し合う	火事、交通事故に会ったらどうするか、どこに電話 するか、自分の住所がいえるかななどを練習する。	杉浦公子	

8	平成28年12月10日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	7	事故に会った時の 対応について話し合う	火事、交通事故、空き巣、泥棒に会った時、何と言 うか、どこに電話したらいいかを話し合う	杉浦公子	高橋ゆき子
9	平成28年12月17日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	8	学習発表会	歌から学ぶ日本語。 代表者の日本語スピーチを聞く。 他のクラスの学習者と交流する。	杉浦公子	
10	平成29年1月7日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	9	安全を守る	防災用品にはどんな物があるか、用意してあるか 等話した。	岩永府子	
11	平成29年1月14日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	7	安全を守る	地震が発生した場合、どのように非難するか考え 話し合った。	岩永府子	
12	平成29年1月21日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	9	他者との関係を円滑にする	会社や家庭でのルールについて話した。	岩永府子	
13	平成29年1月28日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	6	他者との関係を円滑にする	公共施設等でしてもいいこと、禁止されていること について話した。	岩永府子	
14	平成29年2月4日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	11	他者との関係を円滑にする	一日の生活を順を追って話した。明日の日曜日に 何をするか聞き合った。	金田久子	
15	平成29年2月18日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	6	他者との関係を円滑にする	今の自分の仕事について話し合った。ホッチキス、 パンチの使い方を「まず、次に、それから」を使って 説明した。	金田久子	
16	平成29年2月25日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	9	他者との関係を円滑にする	空港や病院でしなければならないことを確認した。	金田久子	
17	平成29年3月4日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	5	他者との関係を円滑にする	日本のお葬式のマナーについて知り、自分の国と 比較した。	金田久子	
18	平成29年3月11日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	9	人生を豊かにする	趣味について話した後、コンビニでできることを考 えた。	河合世津美	
20	平成29年3月18日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	9	人生を豊かにする	1年間のまとめ	河合世津美	

⑨【レベル2－B】

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成28年10月8日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	6	新レベル2スタート 欲しい物。買いたい物につ いて話す	今、一番欲しい物について話し合った後、一番した いことについて話し合った。また、日本での生活に ついて感想を言い合った。	金田久子	
2	平成28年10月22日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	9	欲しい物。買いたい物につ いて話す	おこずかいで買いたい物について話し合った。ま た、自分の欲しい物はどんな物であるかを説明し た。	金田久子	
3	平成28年10月29日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	7	商品についてお店の人に聞く	店員と客になり、果物屋、自転車屋、かばん屋など で、どちらの商品がおすすめであるかについて会 話練習をした。	金田久子	
4	平成28年11月5日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	8	商品についてお店の人に聞く	「なに／いつ／どこ／だれ」の疑問詞と「(の中)で ～がいちばん～ですか」を使って会話練習をした。	金田久子	
5	平成28年11月12日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	7	飲食店について感想を言う	日本の伝統的な飲食店のバーチャル体験を通し、 形容詞過去の接続を学ぶ。 EX おいしくて安かったですよ。	河合世津美	
6	平成28年11月26日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	7	飲食店について感想を言う	自分が行ったことのある場所へ何をしに行ったか 話す。 EX コンビニへおにぎりを買いにいきました。	河合世津美	
7	平成28年12月3日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	7	緊急時の対応について学ぶ	病気、火事、盗難、事故等緊急に周りの助けを借 りて、警察や救急車を呼んでもらったり、自分が呼 べるようにする	河合世津美	
8	平成28年12月10日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	9	緊急時の対応について学ぶ	今どこで何をしているか、自分の状況が説明でき る。 EX今非常口から逃げています	河合世津美	高橋ゆき子
9	平成28年12月17日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	9	学習発表会	歌から学ぶ日本語。 代表者の日本語スピーチを聞く。 他のクラスの学習者と交流する。	河合世津美	
10	平成29年1月7日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	4	安全を守る	災害にあった時どうしたらいいか 話し合う。地震についての経験や自分の身の安全 の方法を言う。	杉浦公子	
11	平成29年1月14日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	7	防災について	防災用品の種類と使い方を学び、どのくらい持っ ているか話し合う。日常生活での災害に会わない ための注意することを話す。	杉浦公子	
12	平成29年1月21日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	4	許可を得る言い方を学ぶ	許可をえる言い方。「はい」の場合と、断る場合の 言い方ができるようにする。	杉浦公子	
13	平成29年1月28日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	3	ルールについて知る	住居、施設でしてはいけないことを話し合い、確認 する。 日本でのルールについても話し合う。	杉浦公子	
14	平成29年2月4日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	4	仕事のやり方を理解する	仕事の手順について話した。その他、発展として ATMや券売機の使い方について話しながら語彙を 増やした。	岩永府子	
16	平成29年2月18日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	4	他者との関係を円滑にする	朝起きてからの一日の生活について話した。ま た、休日何をして過ごすか等話した。	岩永府子	
17	平成29年2月25日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	4	地域社会に参加する	しなければいけないことや禁止されていることを伝 える表現を学習した。	岩永府子	
18	平成29年3月4日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	4	地域社会に参加する	学習者の国の葬式について話した。また、日本の 葬式との違いについて学んだ。	岩永府子	

19	平成29年3月11日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	4	人生を豊かにする	趣味について話した後、コンビニでできることを考えた。	金田久子	
20	平成29年3月18日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	4	人生を豊かにする	1年間のまとめ	金田久子	
⑩【レベル3】								
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成28年5月14日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	4	住環境を整える 苦情を言う	家のことで困っていることを話したり聞いたりする。	杉浦公子	
2	平成28年5月21日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	3	住環境を整える 困っていることを 伝える	困った時の対処法について話し合う。 道を聞いたり、教えたりする時の言い方を練習する	杉浦公子	
3	平成28年5月28日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	6	住環境を整える 困っていることを話す、 アドバイスを受ける	災害・事故の時どうするか話し合う 隣、近所のことで困っていることを話して、意見を聞く。	杉浦公子	
4	平成28年6月4日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	5	交通機関を利用する 目的地までの交通機関を 知る	日本の交通機関の仕組み(電車)を知る 駅員に尋ねる時の会話練習をする。(丁寧言葉で)	杉浦公子	
5	平成28年6月11日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	5	交通機関を利用する チケットについて 教えてもらう	駅での会話を中心に 先週よりもっと丁寧言葉で話す会話練習をする	杉浦公子	
6	平成28年6月18日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	5	交通機関を利用する	目的地までの行き方、道を聞く 場合の丁寧な言い方を練習する	杉浦公子	
7	平成28年6月25日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	4	交通機関を利用する (利用交通機関と時間)	ハイスまでの乗り物、かかる時間 会社までの乗り物、かかる時間を聞きあう。 今まで日本で利用した交通を話し合う	杉浦公子	
8	平成28年7月2日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	6	まとめ	これまでに勉強した内容のまとめを行った。	杉浦公子	
9	平成28年7月9日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	3	交通機関 もし利用できなかったら の場合	旅行、買い物など予定していたことができなかった 場合、どうするかを話し合う	杉浦公子	
10	平成28年7月23日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	3	交通機関 利用できても止める場合	旅行、買い物など予定していたことが、何らかの条件 でできなくても行う場合どうするかを話し合う。	杉浦公子	
11	平成28年7月30日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	4	交通機関を利用する	日本で旅行したい場所について 時間、料金などを復習をかねて話し合った	杉浦公子	
12	平成28年8月20日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	2	復習	どんな家(所)に住みたいか質問しあった。(接続 文で) 家への行き方を聞きあった。	杉浦公子	
13	平成28年8月27日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	5	仕事 休暇の許可をお願いする	仕事上でお願いする時の言い方を練習。 ～ていただけませんか、の使い方	杉浦公子	
14	平成28年9月3日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	2	仕事をする 休暇の許可をお願いする	体の調子が悪い時の表現方法の言い方を練習 し、質問しあう。	杉浦公子	
15	平成28年9月10日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	3	仕事をする 休暇の許可をお願いする	休暇したい理由と丁寧な言い方。 理由を質問しあう。	杉浦公子	
16	平成28年9月17日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	4	仕事をする 自分の能力を 話すことができる	1人1人ができることを言う。 ペアで仕事上で出来ることを話し合い、発表。	杉浦公子	
17	平成28年9月24日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	3	仕事をする 出来る能力 これからしたいことを話す	面接をした時の様子を話す。 今の会社を選んだ理由、何をしたいか、自分に何 ができるか(何が得意か)を話す。	杉浦公子	
18	平成28年10月1日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	10	新レベル3スタート 自己紹介	新規参加者が多数あり自己紹介。 また既習語彙の確認を図る。	杉浦公子	
19	平成28年10月8日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	13	住環境を整えるー1	人や物のより詳しい説明ができるようにする。	内藤ひで子	
20	平成28年10月22日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	13	住環境を整えるー2	前回の練習を踏まえて不動産屋等で希望が伝え られるようにする。	内藤ひで子	
21	平成28年10月29日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	11	住環境を整えるー3	ある動作が起きたとき、引き続き起きる事柄が述 べられるようにする。またはその事柄が理解できる ようにする。	内藤ひで子	
22	平成28年11月5日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	11	住環境を整えるー4	こまった場合の対策等について尋ねられるように する。	内藤ひで子	
23	平成28年11月12日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	10	公共交通機関を利用する	日本へ来てから利用した交通機関について話し、 料金の割引制度を母国と比較。丁寧に依頼する言 い方を練習。	金田久子	
24	平成28年11月26日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	7	公共交通機関を利用する	交通に関する語彙、表現について復習。道を案内 する時の表現を確認した後、目的地への生き方を 教え合う。	金田久子	
25	平成28年12月3日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	9	公共交通機関を利用する	ペアになり、来週の旅行の計画を確認し合う。条 件を示す「～たら、」を使つての会話練習。	金田久子	
26	平成28年12月10日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	11	公共交通機関を利用する	相手の国を旅行したい時におすすめの時期、場 所、食べ物などをアドバイスをし合う。また、天候に よって旅行の予定がどうなるかを聞く。	金田久子	高橋ゆき子
27	平成28年12月17日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	10	学習発表会	少年少女合唱団との歌を通じての交流。学習者の 代表によるスピーチ。	金田久子	

28	平成29年1月7日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	6	仕事をする	職場で休暇を出す場合、どのようにお願いすればよいが学ぶ	河合世津美	
29	平成29年1月14日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	11	仕事をする	親しみを込めた言い方で相手にどうしたのか(どうしたんですか)はなしかけ、会話のきっかけを作る	河合世津美	
30	平成29年1月21日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	8	仕事をする	自分ができることや、特技について話したり、他の学習者に聞いたりする	河合世津美	
31	平成29年1月28日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	9	仕事をする	模擬アルバイト面接官になって、応募者に職種のにできないと困ることを説明し、可能かどうか聞き出す。	河合世津美	
32	平成29年2月4日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	7	健康を保つ	病気になった時の症状を詳しく説明できるようにする。 ガンガンする、クラクラする などの言葉を使って言える。	杉浦公子	
33	平成29年2月18日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	7	健康を保つ	具合が悪くなった時病院のどの科に行ったらいいかを、聞いたり教えることができるようにする	杉浦公子	
34	平成29年2月25日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	8	健康を保つ	ドラッグストアに行って必要な物が買える。(欲しい物を説明できる)	杉浦公子	
35	平成29年3月4日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	3	健康を保つ	店員に現在の状況を説明できる	杉浦公子	
36	平成29年3月11日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	5	お金を管理する	将来の夢、国へ帰ったら、したいこと、給料の使い方について話しあう。	岩永府子	
37	平成29年3月18日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	3	お金を管理する	生活費としてどんな支出があるか、どんな節約をしているか話した。	岩永府子	

⑪【レベル4】

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成28年5月14日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	8	他者との関係を円滑にする	週末の過ごし方について話した。また、おすすめの店や場所について聞きあった。	岩永府子	
2	平成28年5月21日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	7	他者との関係を円滑にする	自分の趣味や好きなことについて詳しく話す練習をした。	岩永府子	
3	平成28年5月28日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	6	安全を守る	職務質問等、身分を尋ねられた時に応答する練習をした。	岩永府子	
4	平成28年6月4日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	7	安全を守る	前回のテーマから、自身の困った経験等について話した。	岩永府子	
5	平成28年6月11日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	8	日本語学習について	自宅でのどのくらい勉強をしているか、なぜ日本語が上手になりたいのか、話し合った。	岩永府子	
6	平成28年6月18日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	9	日本語学習について	日本語が上手になるためにどのような勉強方法をとっているか紹介しあった。	岩永府子	
7	平成28年6月25日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	8	漢字学習について	どんな時漢字が必要だと思うか、漢字を覚えるためにどんな努力をしているか話した。	岩永府子	
8	平成28年7月2日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	6	漢字学習について	漢字を覚えるための勉強方法や、その他問題に対する相談をしあった。	岩永府子	
9	平成28年7月9日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	6	郵便局を利用する	郵便局の窓口で荷物の配送をお願いする会話練習をした。	岩永府子	
10	平成28年7月23日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	8	郵便局を利用する	前回出てきた理由を説明する表現の練習をした。	岩永府子	
11	平成28年7月30日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	7	他者との関係を円滑にする	帰国や一時帰国する時の周囲の人たちへの挨拶の仕方を練習した。	岩永府子	
12	平成28年8月20日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	8	他者との関係を円滑にする	帰国する人たちに、戻ってくる予定はあるか、国で何をするか決まっているのか等、質問をする練習をした。	岩永府子	
13	平成28年8月27日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	9	夏休みの体験	夏休みにどんなことをしてみたか自分の体験を話す練習をした。	岩永府子	
14	平成28年9月3日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	8	帰国後の予定	帰国後にどんなことをするか、帰国予定がない人は帰国したらどんなことをしたいか話した。	岩永府子	
15	平成28年9月10日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	7	お礼を言う	日本へ来てから助けてもらったことについて話した。また、お礼の仕方を練習した。	岩永府子	
16	平成28年9月17日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	8	丁寧に依頼する	丁寧な依頼の表現を勉強した。	岩永府子	
17	平成28年9月24日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	8	目的を話す	日本へ来た目的等、様々な目的について話した。	岩永府子	
1	平成28年10月1日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	6	自分から声をかける	「楽しそうですね」等、相手の様子を見て自分から声をかける練習をした。	岩永府子	
2	平成28年10月8日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	6	感想を言う	日本の生活しやすい点、生活しにくい点を話し合う。	岩永府子	

3	平成28年10月22日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	7	感想を言う	日本と自国を比べて、感じていることを話す。	岩永府子	
4	平成28年10月29日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	7	料理の作り方	「煮る、炒める」等、料理の時に使う言葉を知る。得意な料理の作り方を伝える。	岩永府子	
5	平成28年11月5日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	8	困っていることを伝える	痩せたいのに痩せないなど、自分が困っていることを言う。また、それに答える。	岩永府子	
6	平成28年11月12日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	6	時間的位置の述べ方	今の動作が「これから」なのか「今」なのか、「たった今」なのかを端的に示すことができるようにする。	内藤ひで子	
7	平成28年11月26日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	4	時間的位置の述べ方	あまり時間がたっていない事柄の表現の仕方を学習する。最近始めたことなどをお互いに話す。	内藤ひで子	
8	平成28年12月3日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	4	情報の伝達	自分が得た情報を他の人に伝える言い方を学習する。	内藤ひで子	
9	平成28年12月10日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	6	情報の伝達	お互いに知っている情報を交換し合い、話題を共有する。	内藤ひで子	高橋ゆき子
10	平成28年12月17日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	7	文化発表会	歌を通して、日本人と交流を図る	内藤ひで子	
11	平成29年1月7日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	4	情報の伝達	学習者の国の正月の出来事を伝え合い、話題を共有する。	内藤ひで子	
12	平成29年1月14日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	6	推測の述べ方	普段と違う事態を見て何が起きたのか推測し合う。	内藤ひで子	
13	平成29年1月21日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	5	指示をする	人に指示したりすることを述べる。動作の主体が誰であるのかによって言い方が異なることに注意する	内藤ひで子	
14	平成29年1月28日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	3	指示をする	お互いに家族・特に子どもにさせたいこと、させていることなどを述べる	内藤ひで子	
15	平成29年2月4日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	4	依頼の仕方	丁寧な依頼の仕方を学習する。会社等で許可をもらえるようにする。	内藤ひで子	
16	平成29年2月18日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	5	依頼の仕方	今までで困ったことに対して、どのように対処したかについて話し合う。	内藤ひで子	
17	平成29年2月25日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	3	敬語の使い方	上司に対して上手に敬語が使えるようにする。そのうちの一つとして、尊敬語を学習する。	内藤ひで子	
18	平成29年3月4日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	4	敬語の使い方	特別な尊敬語が使えるようにする。	内藤ひで子	
19	平成29年3月11日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	5	敬語の使い方	いろいろな場面を想定して、尊敬語を使いながら会話が進められるようにする。	内藤ひで子	
20	平成29年3月18日 19:10～20:40	1.5時間	浜松市多文化共生センター	4	敬語の使い方	上司に対して上手に敬語が使えるようにする。そのうちの一つとして、謙譲語を学習する。	内藤ひで子	
⑫【レベル5】								
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成28年5月14日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	7	住民としてのマナーを守る	居住場所のルールを尋ねる。尋ねられた事に対して答える。説明する。ルールやマナーを守らない人に、どのように対処する(話かける)か、発表する。	太田尚子	
2	平成28年5月28日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	5	公共交通機関を利用する	目的地に移動するために、交通手段を選択する。相談する。	太田尚子	
3	平成28年6月11日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	4	公共交通機関を利用する	目的地へ向かう際の交通手段についてアドバイスを求める。それに応じる(アドバイスをする)。	太田尚子	
4	平成28年6月25日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	5	地域社会に参加する	活動(合唱)に参加することで、普段接することの少ない世代の人と交流を図る。また、机上の勉強とは違った形で日本語に親しむ。	太田尚子	
5	平成28年7月9日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	5	公共交通機関を利用する	目的地へ向かう際の交通手段についてアドバイスを求める。それに応じる(アドバイスをする)。	太田尚子	
6	平成28年7月23日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	5	公共交通機関を利用する	発車時刻やかかる時間を尋ねる。条件・状況に応じた移動手段を選択する。	太田尚子	
7	平成28年7月30日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	6	余暇を楽しむ	これまでに行ったことのある旅行先を紹介し、旅での思い出や感想を語る。	太田尚子	
8	平成28年8月20日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	4	余暇を楽しむ	旅行の感想を尋ねる。それに答えて思い出や感想を話す。	太田尚子	
9	平成28年8月27日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	6	余暇を楽しむ	旅行の思い出や感想を聞いた後、それに対して感想(羨望の気持ち)を述べる。	太田尚子	
10	平成28年9月10日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	9	他者との関係を円滑にする	生活・仕事をしている中で、褒められた経験とその時の気持ちを話す。日本人はどんな事をどんな言葉で褒めるのかを知る。	太田尚子	
11	平成28年9月24日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	8	他者との関係を円滑にする	どんな事をどんな言葉・表現で褒めるのかを知る。人を褒めることに関連した敬語(尊敬語・謙譲語)の確認と復習。	太田尚子	

12	平成28年10月8日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	6	他者との関係を円滑にする	褒められた時の応え方を学ぶ。学習した表現をクラス内で実演してみる。(誰かの何かを褒める→それに応える)	太田尚子	
13	平成28年10月29日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	5	他者との関係を円滑にする	生活の中で不要になった物をどうするか、捨てる以外にはどんな方法を探るか、意見を述べる。「譲る」と「あげる」の違い。	太田尚子	
14	平成28年11月12日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	4	他者との関係を円滑にする	人に物を譲る場合に、どのように話を持ちかけるか。そのことを申し出る表現と、相手の希望を尋ねる表現を学習する。	太田尚子	
15	平成28年11月26日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	4	他者との関係を円滑にする	人に物を譲ることを申し出る表現と、相手の希望を尋ねる表現を学習する。動詞の可能形の復習。	太田尚子	
16	平成28年12月10日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	5	他者との関係を円滑にする	人に物を譲る場合、譲ってもらう場合、その交渉をする両方の立場からの表現をロールプレイで練習する。動詞の可能形の復習。	太田尚子	高橋ゆき子
17	平成28年12月17日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	4	地域社会に参加する	活動(合唱)に参加することで、普段接することの少ない世代の人と交流を図る。歌を通して日本語に親しむ。また、これまでの学習経験を生かし、自分の思うことを文章にして人前で発表する。	太田尚子	
18	平成29年1月7日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	4	他者との関係を円滑にする	約束・予定・予約の変更を依頼するための表現を学ぶ。今年の干支と十二支を知り、自分の生まれ年の干支を知る。	太田尚子	
19	平成29年1月21日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	4	他者との関係を円滑にする	約束・予定・予約の変更を依頼するための表現を学ぶ。縮約形の口語表現を理解する。	太田尚子	
20	平成29年2月4日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	5	他者との関係を円滑にする	約束・予定・予約の変更したい理由を説明することが出来るようになる。縮約形の口語表現を理解し、よりスムーズに話せる(使える)よう練習をする。	太田尚子	
21	平成29年2月25日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	5	他者との関係を円滑にする	約束・予定・予約を変更することに関連した表現(延期する・中止する・取り消す等)と使い方を学ぶ。	太田尚子	
22	平成29年3月11日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	6	他者との関係を円滑にする	約束・予定・予約の変更を相談・交渉をする場面を、ロールプレイで練習。会話相手との関係(立場・地位)を考慮しながら言葉を選択し、学習した表現を使う。	太田尚子	
23	平成29年3月18日 19:10～20:40	1.5	浜松市多文化共生センター	6	他者との関係を円滑にする	これまでの学習の総まとめ。テキストには出てこなかった場面における対処法(表現方法)を、学習者同士で考え発表する。	太田尚子	

⑬【レベル1(土曜日昼)】

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成28年6月25日 14:00～16:00	2	入野協働センター	6	挨拶	自分の名前、国、仕事を言う練習をした。 ひらがな あ、か行	岩永府子	
2	平成28年7月2日 10:00～12:00	2	入野協働センター	4	挨拶	相手の名前、国、仕事を尋ねる会話練習をした。 ひらがな が、さ行	岩永府子	
3	平成28年7月9日 14:00～16:00	2	入野協働センター	5	人とかかわる	家族の呼称、年齢の言い方を勉強した。 ひらがな ざ、た行	岩永府子	
4	平成28年7月16日 16:00～18:00	2	入野協働センター	4	人とかかわる	家族の人数を伝える、または聞く練習をした。 ひらがな だ、な行	岩永府子	
5	平成28年7月30日 14:00～16:00	2	入野協働センター	3	住居	自分の住所を言う、住んでいる所を尋ねる練習をした。 ひらがな は、ば、ば行	岩永府子	
6	平成28年9月3日 16:00～18:00	2	入野協働センター	5	住居	アパートの何階、何号室に住んでいるか言う練習をした。また、近隣の公共施設に何があるか話した。 ひらがな ま、や行	岩永府子	
7	平成28年9月10日 16:00～18:00	2	入野協働センター	4	学習する	時刻と曜日を言う練習をした。 ひらがな ら行、わ、を、ん	岩永府子	
8	平成28年10月1日 16:00～18:00	2	入野協働センター	4	学習する	店などに開店時刻や休業日を尋ねる練習をした。 ひらがな 拗音	岩永府子	
9	平成28年10月8日 16:00～18:00	2	入野協働センター	4	公共交通機関を利用する	誰とどこへ行く(行った)か話す練習をした。 ひらがな 拗音	岩永府子	
10	平成28年10月22日 16:00～18:00	2	入野協働センター	4	公共交通機関を利用する	乗り物の名前を覚えた。また、どんな交通手段でどこへ出かけるか話した。 ひらがな 長音	岩永府子	
11	平成28年10月29日 16:00～18:00	2	入野協働センター	4	他者との関係を円滑にする	自分の仕事は何か、会社で何をするか話した。 カタカナ ア、カ、ガ行	岩永府子	
12	平成28年11月5日 16:00～18:00	2	入野協働センター	3	他者との関係を円滑にする	仕事の休みはいつか話した。また、休日に何をする(した)か話した。 カタカナ サ、ザ、タ、ダ行	岩永府子	
13	平成28年11月12日 16:00～18:00	2	入野協働センター	4	他者との関係を円滑にする	将来の夢や、今後の希望(仕事、住む所)について話した。 カタカナ ナ、ハ行	岩永府子	
14	平成28年12月3日 16:00～18:00	2	入野協働センター	3	他者との関係を円滑にする	色々な職業の名前と、店の名前を勉強した。また、よく行く店について、どんな店か話した。 カタカナ バ、パ行	岩永府子	
15	平成28年12月10日 16:00～18:00	2	入野協働センター	3	健康を保つ	病院で症状を伝えるための言葉を勉強した。 カタカナ マ、ヤ、ラ行	岩永府子	
16	平成29年1月14日 16:00～18:00	2	入野協働センター	3	復習	復習を兼ねて、冬休みに何をして過ごしたか会話した。 カタカナ ワ、ヲ、ン、拗音	岩永府子	
17	平成29年1月21日 16:00～18:00	2	入野協働センター	3	健康を保つ	診察室での医者と患者の会話練習をした。 カタカナ 拗音	岩永府子	

18	平成29年1月28日 16:00～18:00	2	入野協働センター	3	健康を保つ	薬の種類や数え方を学習。発展として、その他の助数詞も学習した。	岩永府子	
19	平成29年2月4日 16:00～18:00	2	入野協働センター	3	健康を保つ	薬局で薬を買う会話練習をした。薬の飲み方を聞き取る練習をした。	岩永府子	
20	平成29年2月18日 16:00～18:00	2	入野協働センター	3	お金を管理する	生活費がいくらかかるかをテーマに勉強した。お小遣いをいくらあげるか等話した。	岩永府子	

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【左第1回 28年6月25日 右第2回12月17日】

歌が好きでその国の言語を習う人もいます。という事で、外国人学習者も歌というツールを通してあらたな日本語に触れてもらうという目的の元、地域の浜松少年少女合唱団とその関係者の皆さんに来ていただきコンサートや触れ合いの時間をもった。2度目は自分達も一曲覚え返歌した。また、本年一番日本語学習を頑張った2名にスピーチをしてもらった。外国人学習者からだけでなく、参加した日本の学生達からもお礼と共に浜松の外国人が垣間見え良い経験になったとの感想が寄せられた。



○取組事例②

【第2回 平成28年7月17日曜日】

防災学習として静岡県地震防災センターに行った。地震が起きた直後取るべき行動や、防災として何が必要であるか学んだ。有事に備え、皆真剣に話を聞いたり、展示を見たりしていた。また、文化体験も同日に行った。茶室では体験そのものを楽しむだけでなく、作法を学んだ。掛川城の見学では地域の観光ボランティアに案内をしてもらった。一日を通して教室外で日本語を使う機会となり、分からないことは尋ねたり、学習者同士で助け合ったりしながら、生の日本語に触れる良い機会となった。



(2) 目標の達成状況・成果

【目標①】多文化共生につながる日本語力を向上させる。

《アンケートより》

Q:勉強した日本語を何%ぐらい話すことができると思うか ①5割以上話せる:57% ②5割未満:35% ③無回答:8%

Q:勉強した日本語を何%ぐらい使っているか ①5割以上使っている:53% ②5割未満:37% ③無回答:8%

Q:プログラムの内容に満足しているか ①満足している:73% ②まあまあ満足している:25% ③満足していない:2%(1名)

⇒学習者は概ねこの事業に満足し、学習内容も理解して自身の生活に取り入れていると言える。一方で、学習した内容が半分以下しか使えないと感じている学習者もいる。28年度は、レベルゼロから学習を開始したため生活で使用するには困難さを伴う者も多いからだと推察する。

【目標②】開催時間と内容を拡大し、定住外国人に対し、より豊かな内容が学べる機会と場所を増やす。

・本年度は地元の少年少女合唱団にご協力いただき、歌を通して学ぶ教室を年2回行った。

1回目は合唱やピアノの生演奏を聴くのが初めてという学習者も多く、圧倒された者が多かったようだ。合唱を聴いた後は、合唱団の子どもたちと日本語でゲームをして交流を図った。教室後に感想を聞くと、楽しかった、またこのような教室を開いてほしいという意見が多数だった。

2回目は、学習者も事前に歌を練習し、披露した。家で練習してきた者もいた。1回目とは違い、学習者の積極的参加を促すことができたと思う。この2回の教室で見られた変化は学習者側だけではなく、合唱団の子どもたちにもあった。1回目では自分たちが普段使っている通りの日本語は難しく感じて通じないことを実感し、2回目では伝わりやすいように話す速さを調整したり、簡単な言葉を選んだりという姿が見られた。これは、1つの大きな成果と言えるだろう。

(3) 今後の改善点について

①ゼロレベルの受け入れについて

時期を問わず、断続的に日本語ゼロの学習希望者がいるため、受入時期が難しい。本年度は特に3期に受け入れが難しく断るケースが続いた。受け入れ時期を明確にしてその時期以外は断るより、学びたい思いを失わせないよう、在籍者で欠席が続く者に席を譲ってもらう方法を取り入れたい。

②定住・永住を目指す学習者たち

ブラジル・フィリピンの日本語レベルが低い学習者が増えた。定住・永住を目指す人たちも多い。しかしながら昨年度と異なるのは社会に単純労働の雇用が増加し、リーマンショック以前と同じように日本語学習より残業等を優先し結果、疲れて学習をあきらめるケースが目立った。「教える」だけでは続かない為、学習同士の人間関係を深め、互いに励まし合えるきつとなる学習カリキュラム内容を増やしてはどうかと考えた。

日本語教育を行う人材の養成・研修の実施【活動の名称：ジャボラ研修】									
目的・目標	①日本語学習に反映させにくい日本人の考え方を読み物から説く工夫をする。(例、他人に迷惑をかけない、自己主張ばかりしない、時間約束決め事を守る、人情を知る、恥を知る等) ②生活者としての外国人が日本で生きていく上での最低限必要な漢字力について学ぶ。								
対象	日本人								
取組の内容	①日本人の行いや心情、生き方を外国人学習者に理解させやすくする。そのために特徴的な昔話をリライトする方法を学び教材としても作成する。学習者の自己学習が進むよう多読についても学習する。 ②日本で生活していく中で必要不可欠な漢字力を付けさせられるよう、日本語教室の枠組みを広げる。								
実施期間	平成28年 7月 23日～平成 28年 12月 17日					曜日・時間帯	土曜日(主に13:00～16:00)		
開催回数	全 30時間 (1回 2～5時間 × 10回)					開催場所	浜松市国際交流協会		
参加者	総数 40 人 (日本語学習者 0人、指導者・支援者 4 人など)					使用した教材・リソース	標準的なカリキュラム案に基づいたオリジナルテキスト		
出身・国別内訳 (人数)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン
カリキュラム案活用									
養成・研修の実施内容									
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要		講師名	補助者名
1	平成28年7月23日	4	クリエート	18	多読とリライト1	多読とリライトについての講義		栗野真紀子氏	
2	平成28年8月20日	2	クリエイト	17	浜松市の現状	浜松市の外国人現状、動向、取り組み 13:00～15:00		竹村吉弘氏	
3	平成28年8月20日	2	クリエイト	15	リライト研修会	リライト(1, 2)をすすめるための研修会 15:00～17:00		河合世津美	
4	平成28年9月17日	4	浜松科学館	23	多読とリライト2	リライト(1, 2)中間発表 リライト(3, 4)作品選びグループワーク		栗野真紀子氏	
5	平成28年9月30日	5	市民協働センター	15	リライト研修会	リライト(3, 4)をすすめるための研修会		河合世津美	
6	平成28年10月15日	4	クリエイト	34	日本社会で生きるために必要な漢字力	日本社会で外国人が生きていく上で最低限必要な漢字力についての研修会		野山広氏	
7	平成28年11月26日	5	クリエイト	18	日本社会で生きるために必要な漢字力 グループワーク	研修会で学んだ漢字にリライト力を生かして例文を考える		河合世津美	
8	平成28年12月17日	4	クリエイト	18	会話力	学習者の対話力をどのように磨くか		野山広氏	

(1)特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第1回 28年7月23日】

多読とリライト1 講師栗野真紀子氏

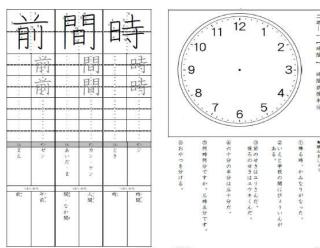
日本語学習者の自己学習を推進するため「読ませる」にはどうしたらよいのかという問題解消が今回の研修会の目的の一つであった。多読のルール、方法等の講義を受け目的に結びつくノウハウを学んだ。後半はグループワークを行った。グループワークでは今回目標の予定4冊のリライト担当グループを決めた。4つに分かれたグループ内であらすじや挿入する絵について意見を交わし、年間を通してこの研修に参加してもらえるようコミュニケーションを深めてもらった。時間が足りず、次の研修会までの宿題を各自で持ち帰った。



○取組事例②

【第6回 28年10月15日】

平成28年8月21日に国立国語研究所で基礎教育学会を設立した背景、目的等についての講演を拝聴した。日本社会で生きていくために必要不可欠な漢字力について、おおよそ70%ぐらいカバーできるのが381漢字であるという趣旨に賛同し、後日グループワークを行い、日本語支援の補助教材にすべく、当方が活動する地域、条件に合わせた内容の検討をした。



(2) 目標の達成状況・成果

検証方法として、受講生にアンケート(自由記入)を行った。

・普段使っている何気ない言葉一つ一つに難しさがあるのだと気付いた。とても面白い講座だった。
・リライトの実習を通して、やさしい日本語で表現する難しさを学んだような気がする。
・「リライト」の意味も分からずに参加したが、人に伝える、人に教えることのノウハウをとて分かりやすく教えていただいた。外国の方への日本語支援だけでなく、子ども、友だちなど、どんな人・事にも通じることだと学んだ。
・(自身も多読の経験があるバイリンガルより)きっかけがなければ最初は難しいと思う。そのきっかけ作りをすることが大切だと思いました。多読の勉強をすることができてとてもためになった。(以上、アンケートより)
⇒多読、リライトの勉強を通じて、日本語の難しさややさしい日本語について考えた受講生が多かった。外国人への言葉かけについて考える日本人が一人でも増えたことは、大きな収穫の一つであった。

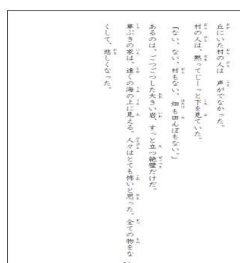
・外国人が日本語を学ぶことの苦勞と、それを支援していくことの大切さを痛感した。今後このような活動に参加できたらと思っている。
・外国の方が日本語を学ぶ上で様々な困難、問題があること、また反対に様々な方からのサポートをいただけるチャンスもあるのだということを広い角度から学んだ。
・生活基本漢字の381字を知ることができてよかった。バイリンガルやトライリンガルの人々は表面だけ見ると素敵だと思うのだが、その裏に大変な苦勞があることを改めて知らされた。(以上アンケートより)
⇒生活基本漢字381字は支援に取り入れたいという声が多数あった。漢字のワークショップにも多くの受講生が参加してくれ、関心の高さが窺えた。指導に取り入れたいという受講生も多く、生活していく上で漢字に困っている外国人のために指導法が一つ広まっていくきっかけとなったのは成果である。

・地域に定住する外国人を行事に巻き込むことが、生きた日本語を学ばせるチャンスになることが分かった。一方で、そのような機会に引き込むことの努力は大変なものだった。
・「同じ地域内に生活する隣人として共存していく覚悟を決めることの重要性」という言葉が心に響いた。
・場面で日本語を覚えていくことが忘れない記憶として残るということを改めて実感した。
・お話の中で会話の力は使わないと伸びない、本当に使うと分かれば学ぶ気になるという言葉が印象的だった。地域との関わりが、日本人、外国人のお互いの利益になることが具体的事例からよく分かった。
・日本語を使用すること＝生活を知ることと痛感した。(以上アンケートより)
⇒日本語を教えるとはどういうことか、どういう方法がとれるのか、受講生それぞれが見つめ直した回だった。ただ日本語を教えていけばいいという考えではないことを再確認できたことは、今後の指導に生きてくると思っている。

(3) 今後の改善点について

・多読とリライト講座で学んだことを実際の教室で行ってみたいと思っていたが、リライト本の作成に時間がかかり、実行に移すことができなかった。今回の事業内では出来なかったが、今後の指導に生かしたいと思う。
・今回の研修会を通して、新規受講生が多く、ボランティア経験はないがやってみたいという参加者も複数いた。しかし、受講生にボランティア参加の意思があっても、時間的な制約や指導内容の問題で、現実的に当方の教室でのボランティアとしての活動には至らなかった。今後、生活基本漢字381字を取り入れていく予定だが、その中でボランティアを広く募っていくことも検討したい。

日本語教育のための学習教材の作成【教材の名称：ジャボラのリライト本】			
目的・目標	共生につなげる教材として日本人の考え方や心理が学べる教材を作成し、日本語学習教材として役立てる。		
対象	外国人大人、子ども		
教材の内容	日本人の道徳的な観念を伝える昔話をリライトしわかりやすくするために豊富に絵を入れる		
実施期間	平成28年 5月 14日～平成28年 2月 18日	成果物のリンク先	
作成教材の想定 授業時間 コマ数と頁数	1回 1時間 × 8回 = 8時間分	教材の頁数	一冊あたり 約15ページ
カリキュラム案活用	日本語能力評価として活用。学んだ語彙や表現、日本人の考え方や心理について記録するポートフォリオを付ける。		
教材の活用方法	日本語補助教材として活用		
今後の活用の予定	28年度は作成するだけで精一杯であった。29年度に実際に活用していく。		



4. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的・目標

生活者として生きる外国人に関係する諸問題に対応し、問題解決に結びつく日本語教育を行う。
ア) 行政の手の届かない隙間を埋め、学習希望者が多く出席できる地域、場所で教室を開催する。
イ) 知識伝授型から共理解のための「交流」と「地域参加」型を重視する。
ウ) 地域、行政、企業、関係者が応援しやすくなる日本語教室を行い、持続できるようにする。

(2) 目的・目標の達成状況・事業の成果

ア) 28年度日本語教室は学習者101名(実数)の人数からみても日本語教室開催目標を達成できたと言えよう。週末夜の参加要望が多かったことから開催は適当かつ必要であることが分かる。

イ) 研修初参加者の若者20代～30代が全参加者実数40人に対し9名いた。これは全体の22.5%になり、次世代に繋がる希望が感じられた。講義のみで知識伝授型にならぬよう、地域住民参加型で「交流」を重視し、共に《誰もが使え教材＝リライト本》を作成したのは参加者が繋がりがやすく良い結果となった。

ウ) 上記研修の中で、特に381漢字は研修会に参加されなかった他団体からも問い合わせがあり、今後の使用を希望された。外国人向けに絞って作成したのだが、地域の日本人からも詳細の問い合わせがあった。特筆は障害のある人達にかかわる団体関係者、地域のお年寄りからも教材入手を希望されていることである。日本人にとっては、生涯教育として有用であり、教える立場でも生涯教育となる。今後ボランティアでかかわってもらえる若者も上記イの研修の一環から生まれた。この結果は関係者から応援してもらえる形態であると考えられる。

ア)イ)ウ)の達成度が高く、今後の日本語教室、研修、教材に対するニーズも高いと思えるので、29年度の再応募を決意した。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

標準的なカリキュラム案を参考にしたテキストを作成、使用している。本年日本語教室見学者は11名だった。(浜松版地域日本語教師養成事業、6名。他団体2名、大学院生1名 社会人2名)その中で一番特徴として挙げられているのが上記テキストである。見学振り返りシートが浜松国際交流協会より送られてきたのでここに一部抜粋する。
《見学を通じて参考にしたいこと等。2016年12月3日の教室》
「浜松の地域に生活するどんな外国人にも実際に使えるテキストでした。学習者にとってはもちろん、教師にとっても使いやすくなりやすい構成です。(中略)最後のポートフォリオを学習者が自分で書き足すことで、学習事項の確認と振り返りにもなり、学習が自然に身につく工夫や学習の一貫性もあると思います。」
テキストはまだ完全とは言えず、修正の連続ではあるが、学習者側のニーズ及び教室の形態がカリキュラム案参考のテキストとマッチングしており、かつ指導者にも使いやすことから地域での活用は今後も良好に進むと考える。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

浜松国際交流協会(HICE)事務局長竹村吉弘氏と連携できたことにより公共施設の提供をしていただき、多文化共生への指導をお願いできた。今後とも日本語教室持続のためには無くてはならない連携機関でありその効果と成果は大きい。
ホテル「呉竹荘」常務取締役山下純乃氏と連携できたことにより、委員会等の場所の提供、防災教室時のバスの貸し出し、掛川城等の施設管理者でもあることから日本語学習者の遠足先として「お茶会」や「おもてなし」で日本の文化を大いに学習させていただいた。今後CSR的側面と、学習者の出口機関としても期待できる。
本年の新しい取り組みとして、当地域の特色である音楽を活かして地域で15年以上音楽活動してきた伊熊句子氏と連携したが浜松少年少女合唱団の団員達から地域の外国人の日本語教育状態が垣間見え貴重な体験になったとの声が寄せられた。共生に向け若者の体験は重要な点であることから連携の効果は大きいと言えるのではないだろうか。

(5) 事業実施に当たっての周知・広報と、事業成果の地域への発信等について

行政や他NPOが出しているメールマガジンにイベントのお知らせを常時流してもらえるよう努力した。また、市が行う多文化共生月間に講座を合わせ、チラシやリーフレットの便乗をお願いした。メールマガジンは反響が大きく、当該事業のボランティア養成、育成講座は常にインターネット上からの問い合わせであった。事業後は必ず行った講演、研修内容をまとめブログに掲載し、誰でもいつでも閲覧できるようにしている。
年間事業成果は終了後必ず、ホームページにあげている。

(6) 改善点、今後の課題について

日本語教室
学習者は誰を最優先で受け入れるかを精査し、教室の在り方、指導者についても再考する。社会の流れで同じことの繰り返しが続いているが持続の在り方についても構築し直す。

養成講座
課題として、養成講座で作成物が多く「リライト本」「381漢字」研修の時間だけでは出来上がらず、事務職がこの対応に追われ例年になく多忙になった。また作ることに追われ実際に使用して検討する段階まで到達できなかった。企画構築実行までを年内で終了できる内容の見直しも必要だが使い捨てにならないことも必要であり、改善する必要がある。

その他
今後教材を希望される個人、団体とどのように繋がっていくのが一番よいのか、また新しく参加希望されている方達の活躍場所をどうするのか、今のところ未決定である。その理由の一つに交通費等謝金についての問題がある。

(7) その他参考資料